

特別支援教育センターの社会貢献活動

教育学部附属特別支援教育センター長・教授 村瀬 忍

E-mail shinobu@gifu-u.ac.jp

概要

特別支援教育に関する基礎的研究、臨床的研究、教育方法の開発等を行うとともに、それらを専門的、実践的な教員養成に生かし、教育相談や研修活動等を通じて社会貢献をしています。

<http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~jissencenter/index.html>

内容

1 センター研究員

特別支援教育センター年報への論文投稿と研究成果報告会での発表ができます。

2 教育相談

特別支援教育に関する本人、保護者、学校の相談をお受けしています。

平成25年度の相談実績は延715件です。

3 教育学部公開講座

最前線の研究や実践を学びます。



| 年度 | 講座名 | 参加者 |
|----|--|-----|
| 23 | 平成22年度特別支援教育センター研究成果報告会 | 31 |
| | 通塾学級におけるクラスワイドな支援と個別のニーズへの支援 | 127 |
| | RTIモデルによる読み書き障害の支援 | 115 |
| | 級単科における特別支援教育の展開 | 53 |
| 24 | 平成23年度特別支援教育センター研究成果報告会 | 50 |
| | 発達障害のある子どもの対人関係の理解と支援I | 139 |
| | 発達障害(自閉症)のある生徒への社会参加を目指した教育的支援 | 127 |
| | 知的障害児の課題解決力を育む授業づくり | 43 |
| 25 | 平成24年度特別支援教育センター研究成果報告会 | 25 |
| | 児童生徒の主体的な参加を促す授業づくり | 150 |
| | 児童生徒の参加を促す行動学習へのアプローチ | 180 |
| | 学校心理士からみた特別支援教育の推進 | 70 |
| 26 | 平成25年度特別支援教育センター研究成果報告会 | 32 |
| | みんながわかる・できる授業のユニバーサルデザイン | 90 |
| | ディスレクシア児の文字の読むの特徴—眼球運動の観察— 子どもがわかって動いて育ち合う授業づくり | |

4 教育実践

お子さんや保護者、先生方と教育実践を行っています。

| 教育実践(平成25年度の例) | 延べ参加者数 |
|----------------------|--------|
| ・神戸サマースクール | 250 |
| ・障害のある子どもの夏休み教室 | 250 |
| ・ハンディキャップをもつ子どもの体操教室 | 980 |
| ・ペアレントサポートプログラム | 56 |
| ・ソーシャルスキルトレーニング | 200 |
| ・ダウン症児の子育て支援教室 | 20 |
| ・小学生のための吃音教室 | 40 |

アピールポイント

地域の方へ

教育相談をご希望の方は、あらかじめ当センターの事務室に申し込んでください。なお、この教育相談は大学の研究施設としての趣旨・目的に沿っておこなうものですので、その点を十分ご理解の上、ご利用ください。費用は有料です。

事務室連絡先：TEL 058-293-2350 FAX 058-293-2355